

Active activity

# しま×にじ 通信

Active activityで実施している「しま×にじ」の活動を紹介します。

## ▶メンバー

市民協働課	杉本	健康づくり課	福島
市民協働課	天草	健康づくり課	大村
市民協働課	藤原	スポーツ振興課	山下
人事課	大石		

# しま×にじの活動目的

- ▶職員が性の多様性やジェンダー問題について、正しい知識や考え方をもち、組織内で性別に関わりなく能力を発揮できる環境整備を目指していきます。
- ▶市民に対しても性別・外見などに関わりなく適切な対応を心がけられるよう、グループで意見や考えを深めていきます。

# 第01回 (4/27) 多様性について、性のあり方について

## ▶多様性について考えるワーク

Q. 頭の中で、「おにぎり」をひとつ、なるべく具体的に想像してみてください

→一人一人思い描くおにぎりが違うように、人の考え方や見方は千差万別、多種多様

Q. (イラストを見て) このおにぎりの中身を当ててみてください  
→おにぎりを割って見てみないと中の具が何かはわからない。人の性のあり方も外見だけでは判断できないものもある

# 第01回 (4/27) 多様性について、性のあり方について

## ▶性のあり方の基礎知識について

LGBTQの割合・・・人口割合は11人に1人（諸説あり）

レインボーフラッグについて

・・・6色のレインボーはLGBTQのシンボル

アライについて

・・・アライ（Ally）はLGBTQの味方・仲間という意味。

# 参加者の感想（抜粋）

おにぎりのワーク、みんな異なっているが、それが当たり前で良いこと。

10人いれば、10人十色の価値観がある。

自分の中で、こうでなきゃといった固定観念があったように気づいた。

LGBTQの人が同じクラスに何人かいたのかもしれない。

一人一人が思い描いたこと、人のことを知るのが楽しいと感じた。

## 参加者の感想（抜粋）

見た目や印象で人のことを判断することはあるが、実際は話してみても、分かることが多々ある。LGBTQもそうだと思う。

当事者と関わった経験が少ない。隠して生活している人が多いのでは。

決めつけて生活するのは楽かもしれないが、それによって分類できない人は見えない状態になってしまっている。

アライ（理解者）としてできることを考えて実践していきたい。